



# ひるの星

No. 253

## もくじ

バハオラの言葉 <sup>ことば</sup> .....	2
バハオラの宣布.....	3
クイズ.....	10
めいそう（瞑想）.....	11
工作 <sup>こうさく</sup> .....	12
ぬり絵 <sup>ぬりえ</sup> .....	13
みんなの写真 <sup>しゃしん</sup> .....	14
保護者 <sup>ほごしや</sup> のページ.....	15

ちじょう こくおう  
「おお、地上の国王たちよ。

さいこう しゅ  
すべてのものの最高の主

とうらい  
が到来された... 人々の中

まず かみ しんらい  
の貧しい人こそ神の信頼

し  
する人であることを知れ。

かみ しんらい うらぎ  
神の信頼を裏切ることをな

きよう... 」

バハオラ



## バハオラの<sup>せんぶ</sup>宣布

お母さんが洗濯物をたたんでいると、男の子の部屋から大きな

笑い声が聞こえてきました。けんかとか泣き声ではないので、

お母さんはとても喜んで様子を見に行きました。部屋の入り口から、リアズがいっちょら

の服を着て威張って歩いているのが見えました。片手は上着の胸に突っ込んでくり返しこう

言っているのです。

「これが神からの手紙なら、我は神以上だ！」

他の子たちは笑いながら手を叩いてはやしたてていました。

「何事なの？」とお母さんが言いました。

「リアズがナポレオン三世の真似をしているのよ。」と、モナが言いました。

「ナポレオンあてのバハオラの手紙とナポレオンがそれに応えたのをみんな

に話したのよ。そしたらリアズがそれを演じてみることにしたの。」子供たちはまた笑い出し

ました。リアズは家族の笑わせ役でした。みんなリアズのお芝居が大好きでした。

「お母さん、バハオラがナポレオンに手紙を出したって本当？バハオラが大人でナポレオン

を子供のようにたしなめる手紙だったの？」と、アスマが聞きました。

お母さんが笑って、

「そんなところね。」と答えました。

「でもバハオラはただの囚人だったんでしょう？それなのに皇帝にそ





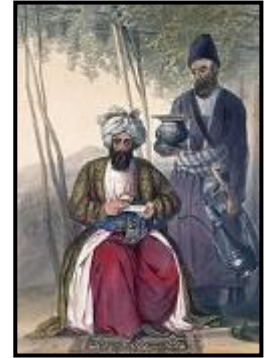
んな手紙を書くなんて勇氣あるなあ。」と、アスマが続けました。

「そうね、バハオラはオスマントルコ帝国の皇帝にも手紙を書いたのよ。

皇帝の側近はその手紙を開けたとき驚きのあまり顔が青くなったそう

よ。そして息をのんで、『帝国の王の中の王がその一国の取るに足らない

王に命令しているかのようだ。』と言いました。」



「バハオラはこのような王たちに何を伝えたのかな？」とリアズが

聞きました。リアズは皇帝とか王の話が大好きです。

「いろいろな事よ。国の違いや、その当時の王や女王たちが何をしていたかにもよるけど。

でも、バハオラがみんなに伝えたのは、戦争の武器を作るのも、その費用を国民に払わせる

のも止めるように、ということ。どの国も戦争を止め、仲良くし、平和を守ること、貧しい

国民を救うべきということだったのよ。そして、もっとも大事なことは、神が送られた新しい

先生に従うようにと伝えたこと。ナポレオンはバハオラの手紙を受け取ったときは、最大の

力を持っていたので、その手紙を投げ捨てて、そのことを忘れてしまうほど大胆だったそ

うよ。バハオラは二度目の手紙で、最初の手紙に従わなかったので、国を失ってしまうだろ

うと警告され、実際、一年以内にナポレオンは完全に国を失ってしまったのよ。」

「バハオラが送った手紙で他の王たちはどうしたの？誰か知っている？」とリアズが

聞きました。

「ドイツの事は知っているだろう？ドイツ皇帝は、戦争の武器を増やすのを止めなければ

いちどならず二度までもドイツは血で染まってしまうだろうとバハオラに言われたの。ドイツ

皇帝は従わなかったの、第一次も第二次世界大戦もドイツは惨めに負けたわよね。」

「世界大戦とドイツのことは聞いたことがあるわ。」とモナが言いました。

「そんなのみんな知っているよ！俺たちのおじいちゃんたちは日本人とアメリカ人だから

第二次世界大戦で戦ったんだぞ！！」とアスマが言いました。

「敵同士だったんだ！」とリアズが叫んで続けました。

「変な気分だな、みんなここにいるなんて！もしおじいちゃん二人が戦争で出会っていたら、

今の俺たちはいないかも！」

「わかった、わかった。話を戻しましょ。」とお母さんが言って続けました。

「バハオラが王に宛てた手紙を届けさせた一人の若者のおもしろいお話があるのよ。バハ

オラがアドリアノーブルにおられた頃、ペルシャの王に手紙を書かれました。バハオラの国

の王でありバハオラを囚人にした王でした。バハオラは手紙を書かれた後、『猫に鈴をつけ

るのは誰か？』と言われました。バハオラが仰っている意味は何かみんなわかる？この

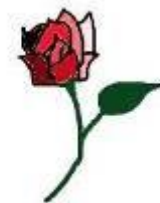
お話みんな知っている？」

「知っている、その話なら！！」とシャラが叫びました。

「猫に鈴をつけようとするネズミたちの話でしょう？ その猫が来たら分かるようにする

のはいいんだけど、誰がそんな事をする勇氣があるかが問題になるのよね。」

「そうなのよ、シャラ。バハオラが言われているのは、誰がその手紙を届ける勇氣があるか



という事なのよ。ちょうどこのお話にあるようにね。」

「郵便で送ればいいのにね」とアニサが言いました。みんな笑ってしまいました。

「その頃は、そんなもの無かったんじゃないかな？」とリアズが言いました。

「あったけど、今のようなものではなかったから、その手紙は自分で届けなくてはならなかったのね。」とお母さんが言いました。

「そんな危険な事をするのにたくさんの申し出があったんだけど、ババオラは、みんな断っていました。やがてアッカのバハオラのところへ、バディという若者がやってきました。バ

ディは、とても反抗的で両親も困っていました。でも、バハオラと話すとはバディは完全に

変わりました。バディは、精神的になり、やさしく大人くなりました。バディは、バハオ

ラに仕えたいと強く願いました。バハオラの教えで世界が和合して平和になるのを

手伝いたくて、そのメッセージを届けることを願い出ました。バハオラはそ

の願いを聞いて、バディに手紙を届けさせることにしました。バディは何ヶ月

も歩いてペルシャの王のところまで行きました。そしてサマーキャンプから

王が馬に乗って出て来たとき、バディは王に向かって言いました。『王よ！シ

バからあなたのところへ大事なメッセージを持って来ました。』王は、そのと

き誰がメッセージを送ったか知って、とても怒りました。そしてバディを直ちに捕らえるよ

う命じ、拷問して殺してしまいました。ただ手紙を届けただけなのにね。そのとき、バディ

はほんの17才でした。」



「ああ、かわいそうなバディ。」とモナ、シャラ、アニサが口をそろえて言いました。

「ことわざで、『メッセージを届けた者を殺さないように。』というのを聞いたことがある。

それはメッセージを届けただけの人を怒らないように、という意味だよ。バディの事が、こ

のことわざになったのかも知れない。」とアスマが言うと、他の子たちも納得しました。

お母さんが続けました。

「バディが届けた手紙で、バハオラは、ご自分が約束された方で、その言葉は神の言葉であると言われました。国民を正義で治めるようにと、何度も何度も王を正しました。」

「バハオラは王にしか手紙を書かなかったの？女王とかは？」とシャラが聞きました。

「女王にも書いたのよ。イギリスの女王にね。ヴィクトリア女王だったのよ。手紙でバハオラは、女王が奴隷貿易を法律で禁じたのをほめ、それから国民が政治に参加できるようにし

たこともほめていらっしやるわ。女王は選挙で国民に政治を任せるようにしたの。それから、

世界の指導者がみんな戦争をやめるようにするまでは、世界は悪くなる

一方だと言われました。」

「わあ～、すごい。一番すばらしい指導者だね。

バハオラがほめた、たった一人の指導者だもん

ね。ほら、ごらん、女の指導者のほうがいいね。」

とシャラが言いました。

アニサとモナが笑うと、リアズとアスマが女の子たちに枕を

投げつけました。





「わかった、わかった。みんな<sup>お</sup>落ち<sup>つ</sup>着きなさい。」と言

ってお母さんが<sup>つづ</sup>続けました。「ヴィクトリア女王<sup>じょおう</sup>はただ

ひとり、バハオラの手紙<sup>てがみ</sup>に良い印象<sup>いんしょう</sup>で<sup>こた</sup>答えたのよ。女王<sup>じょおう</sup>が言うには『これが神<sup>かみ</sup>

からのメッセージなら、これは永遠<sup>えいえん</sup>に<sup>つづ</sup>続くでしょう。そうでなくても何<sup>なに</sup>も害<sup>がい</sup>にはならないでしょう。』



「アメリカはどうだったの？バハオラは大統領<sup>だいてうりょう</sup>に手紙<sup>てがみ</sup>を出したの？」とモナ<sup>き</sup>が聞きました。

「大統領<sup>だいてうりょう</sup>には直接<sup>ちよくせつ</sup>出さなかったけど、最も<sup>もつと</sup>聖<sup>せい</sup>なる書<sup>しょ</sup>（「ケタベ・アクダス」）で北アメリカ<sup>きた</sup>

をはじめ中南米<sup>ちゅうなんべい</sup>諸国<sup>しよこく</sup>の指導者<sup>しどうしや</sup>たちに呼びかけておられるのよ。

ローマ法王<sup>ほうおう</sup>とか世界<sup>せかい</sup>の他<sup>ほか</sup>の指導者<sup>しどうしや</sup>たちにもね。そこではキリスト<sup>ふっかつ</sup>の復活<sup>かみ</sup>と神<sup>おく</sup>が送られたこの

人類<sup>じんるい</sup>の新しい先生<sup>あたらしせんせい</sup>に従うように、さらに弱い者<sup>よわもの</sup>を守り、不当<sup>ふとう</sup>に扱われている人々<sup>あつか</sup>を救うよ

うにと呼びかけています。」

お母さんが<sup>つづ</sup>続けました。

「世界の指導者<sup>せかいしどうしや</sup>たちへのメッセージのすべてでバハオラは世界<sup>せかい</sup>の和合<sup>わごう</sup>と平和<sup>へいわ</sup>を呼びかけ、そ

うすれば最大<sup>さいだい</sup>平和<sup>へいわ</sup>がやってきて全ての人々<sup>すべ</sup>が幸せ<sup>ひとびと</sup>で安心<sup>しあわ</sup>して暮らせるようになると教えら

れたの。しかし、王<sup>おう</sup>や指導者<sup>しどうしや</sup>たちが神<sup>かみ</sup>に背<sup>そむ</sup>き無視<sup>むし</sup>したので最大<sup>さいだい</sup>平和<sup>へいわ</sup>は簡単<sup>かんたん</sup>にはやってこない、その

代わりに、みんなが一生<sup>いっしよう</sup>懸命<sup>けんめい</sup>に努力<sup>どりよく</sup>して小<sup>しょう</sup>平和<sup>へいわ</sup>を築<sup>きず</sup>き、その努力<sup>どりよく</sup>を長く<sup>つづ</sup>続けて、やっと最後<sup>さいご</sup>

に最大<sup>さいだい</sup>平和<sup>へいわ</sup>がやって来るとバハオラは言われてるわ。」

「送られなかった手紙<sup>おく</sup>が本<sup>てがみ</sup>に書<sup>ほん</sup>かれているだけだったら、指導者<sup>しどうしや</sup>たちはどうやって神<sup>かみ</sup>が



のぞまれるメッセージを知ることができるのかな？」とリアズが聞きました。

「だから、世界中のバハイたちがこれらの大事なメッセージを世界中のあらゆる地域の指導者に見せているのよ。みんなで小平和が来るように最善を尽くさなくてはならない。そうすれば、しっかりと強い最大平和が必ずやってくるわ。」

「そうだね！」と子供たちが叫びました。

「小平和がくるようにするにはどうしたらいいのかしら？」とモナが聞きました。

「わかった！おれが沖縄の皇帝になって小平和が来るようにすればいい。」とリアズが言うと、子供たちは床に笑い転げてしまいました。お母さんが微笑んで言いました。

「小平和への道は最大平和と同じように和合することね。それは誰も、たとえ王でも一人では出来ません。自分で出来るのはまず家族、友達、道で会う誰とでも和合すること。その意味は、まずけんかをしないこと。だから、みんなもけんかしないように努力しましょう。それが小平和に向かう第一歩となるのよ。」

子供たちはもっともだと言わんばかりに、互いに見合わせてうなずいて微笑みました。そして、そうなるように努力する約束をしました。



## クイズ

1. リアズはどんなことをして子供たちを笑わせましたか？  
\_\_\_\_\_
2. ナポレオン三世はバハオラの手紙を読んで何と言いましたか？  
\_\_\_\_\_
3. バハオラの手紙をペルシャ王に届けた少年の名前は？  
\_\_\_\_\_
4. ドイツ皇帝がバハオラに従わなかった後、ドイツに何が起きましたか？  
\_\_\_\_\_
5. バハオラはどこどの国の女王に手紙を送りましたか？  
\_\_\_\_\_
6. バハオラは手紙でその女王の何をほめましたか？  
\_\_\_\_\_
7. バハオラは他にどんな指導者に呼びかけましたか？  
\_\_\_\_\_
8. その指導者たちはバハオラの言うことを聞きましたか？  
\_\_\_\_\_
9. どうして今は最大平和になっていないのですか？  
\_\_\_\_\_
10. 小平和をもたらし、最大平和に向かうようにするため私たちは何をしますか？  
\_\_\_\_\_

どうですか？全部答えられましたか

答えは保護者のページのお話の後にあります。



# COOPERATION

Now it is time for us to take a special journey to help us remember what we have learned so far. First, let's prepare for our journey. Close your eyes and be still. Take a deep breath, hold it, and blow it out. Do it one more time. Squeeze your arms, and let them loose. Squeeze your legs, then let them loose.

We are walking in a park where we find all of our favorite things. A tree bows low and we hear it whispering in the wind. Butterflies are painted on the breeze. The pathway leads over a bridge and around a rock garden to a pretty waterfall beside a cooling pool. Deep in the pool we see a frog staring at us. We also see the reflection of many other people standing beside us. The frog opens its mouth to croak. We think he is telling us that in this beautiful park, we must remember to work with others if we are to do our best work. We turn to see that the people beside us are gardeners, teachers, helpers and friends. Each one with an important job.

We follow them and pick up each piece of trash blown in by the wind. Soon the park is more beautiful than ever. Our friends are smiling at us. We have become a part of the team now. We then walk over the bridge and up the stairs to the pagoda and watch as all the frogs come out in the moonlight and sing, as if in a chorus. Their beautiful song shows us how beautiful cooperation is.

We take a deep breath, and open our eyes. In our circle we see our friends who we cooperate with to make this a wonderful class.

さあ、これからすてきな旅に出ましょう。先に準備をしましょう。目を閉じて。気を静めて。息をすって、はいて。もう一度すって、はいて。腕をぎゅっとして、力をぬいて。足をぎゅっとして、力をぬいて。



ここは私たちの一番好きなものが集まった庭園です。風にささやく木、空をえがくちょうちょう。今歩いている道は岩庭のそばを回り、橋を渡り、その向こうにはすてきな滝と泉が輝いています。泉に反射している私たちのそばには他の人もたくさんあつまっています。泉のそばにすわっているカエルがなきます。きっと私たちにこの庭園では協力をすればすばらしい結果が出ると教えてくれているのです。となりにいる人たちを良く見ると庭の管理人や、先生たち、お手伝いさんや友達でした。みんな大切な仕事がある人たちです。



風に飛ばされたゴミなどを拾って みんなとこのすてきな庭園をきれいにします。もっともっとすてきな所になっていきますね。みんな喜んでます。私たちは協力し合うチームになったのです。みんなと橋の向こうの階段を上り、丘の上で月ひかりをあびます。そこでカエルたちの声が合唱をしはじめます。このすてきな歌は私たちに協力の美しさを教えてくれているのです。

さあ深呼吸をして。目をあけて。私たちのサークルの中には協力し合う友達が集まっていますね。本当にすてきなクラスだと思いませんか？

～協力～

## びとく 美徳トランプ

### ざいりょう 材料

1セットのトランプ

13の**びとく**のリスト

52枚のトランプ・サイズの**もぞうし**  
のり



### つく かた 作り方

- ・13の**びとく**を決める。。愛、親切など。
- ・一つ目の**びとく**を4枚の紙に書く。同様にして13番目の**びとく**まで続ける。
- ・一つ目の**びとく**を4つのエースカードにのりづけする。同様にして13番目の**びとく**を4つのキングカードにのりづけするまで続ける。

### あそ かた 遊び方

#### 美徳のペアを探すゲーム

- ・カードをよくきって、7枚ずつ配る。残りは真ん中に置く。
- ・7枚のうち**びとく**のペアがあれば、それを自分の前に置く。
- ・一番若い人から時計回りにゲームを始める。
- ・プレイヤーは自分と同じ**びとく**のカードを持っていそうな他のプレイヤーの名前を呼んで聞く。

たとえば、「ひろし君、親切を見せてください。」ひろし君が同じ**びとく**のカードを持っていれば、ひろし君は「はい、親切を見せてあげます。」と答えてカードを手渡す。もらったら「ありがとう。ひろし君から親切を習いました。」と言って**びとく**のペアを自分の前に置く。ペアひとつは一点。

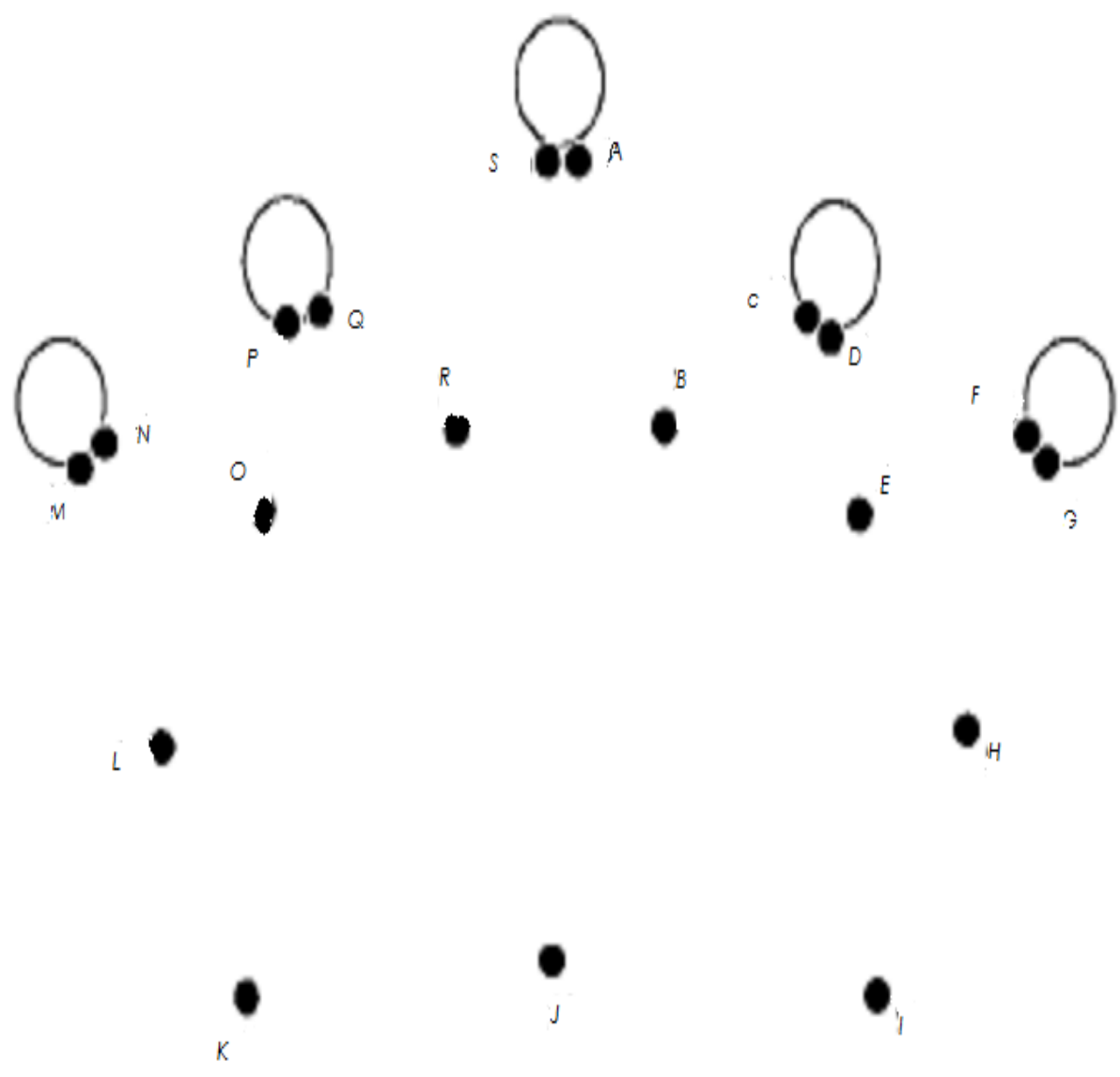
- ・それを持っていなければ、ひろし君は「ごめん親切は未だ習ってないんだよ。ゴー、ファイニング。」と言います。プレイヤーは真ん中のカードの一番上の一枚を取り出す。
- ・真ん中のカードがなくなったところで、ゲームは終わり。
- ・それぞれのプレイヤーはペアになった**びとく**を習いましたと読みあげていく。
- ・ペアの多いプレイヤーの勝ち。

# ぬり絵

a から b へ....

b から c へ....

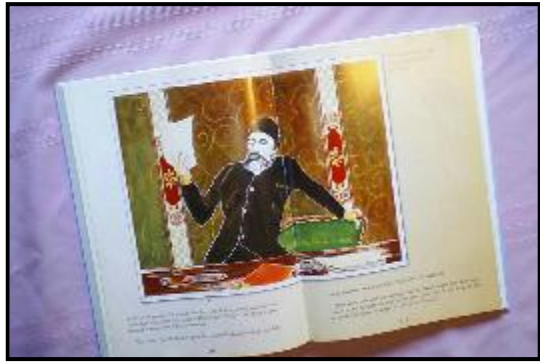
点を全部つないで絵を完成してみましょう。



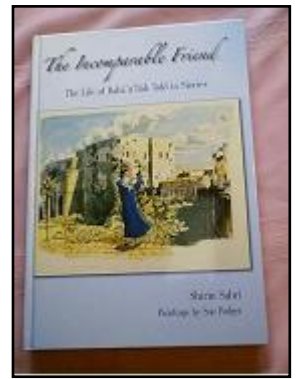
www.totitot.com

みんなの<sup>しゃしん</sup>写真





## 保護者のページ



王や指導者あてのバハオラの手紙についてのお話は、美しい、さし絵入りの子供向けの英語版の本“*The Incomparable Friend*” by Shirin Sabri にあります。上の写真はそのさし絵です。日本語版では大人向けに、王や指導者あてのバハオラの手紙が、「バハオラの宣言」という本にあります。この本はオンライン <http://www.bahai.jp/library/about/バハオラ/バハオラの宣言> で無料で読めます。

子供たちが理解すべきことは、世界平和も含めて世の改善は、私たち一人一人から始めることです。そして、これは、和合を通してでしか達成できないということです。このことはバハオラが次のように言われています。

「人類の和合が確立されない限り、人類の幸福、平和、安全は決して実現しない。」

そして

「世の改善は、清らかで立派な行為と称賛に値する礼儀にかなった行動を通して達成できる。」

私たちは子供たちが相手の立場に立って和合するよう訓練すべきです。子供たちが家族やクラスメート、見知らぬ人にも奉仕の精神で接するように教えましょう。子供たちが世界の誰でも自分と同じくらい大切だと思うようになるよう手伝いましょう。



### クイズの答え：

1) ナポレオン三世の真似をした。2) 「これが神からの手紙なら、我は神以上だ。」3) バディ。4) 一度ならず二度までもドイツは血で染まってしまうだろう。5) イギリス。6) 奴隷貿易を止めさせて、法律で禁じた。それと、国民が政治に参加できるようにして選挙で政治を任せさせた。7) ローマ法王、オスマントルコ帝国の皇帝、北アメリカと中南米諸国の指導者など。8) いいえ。9) 指導者たちが神に背き、手紙を無視したから。10) 自分の家族、友達、道で会う誰とでも和合すること、けんかしないことです。



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ  
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。  
[luanahirahara@hotmail.com](mailto:luanahirahara@hotmail.com) に送ってください。

## ひるの星

№. 253

2013年4月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://hirunohoshi.weebly.com/>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、原奈緒、アルマンザ・エダナ

## 協力

物語：平原ルアナ、

和訳：平原静志、

写真：ウィキペディア、平原ルアナ、マクティア・ハナ、小島えり子

絵：ハンナ・メグ、平原ルアナ、ハンナ・ミシェル、平本かおり、カーティス・ラリー、

テクニカル・アドバイザー：マクティア・トラヴィス

監修：平野祐一